

令和6年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価

○ 各委員の評価点の平均点（4点満点）

拠点	相談・支援	協働支援	学習・体験	交流	情報発信	男女共同	国際
3.5 (3.0)	2.8 (3.0)	2.4 (2.8)	2.9 (2.1)	2.8 (3.1)	3.0 (2.6)	2.8 (2.5)	2.8 (2.1)

誰でも気軽に	シェアしながら	地域の課題を解決する
3.1 (3.0)	2.8 (2.9)	2.6 (2.2)

※下段（ ）内は昨年度の評価結果において、令和6年度の評価結果と公平に比較できるように、5段階評価を4段階評価に合わせる形で調整を行っています。

（昨年度の点数）÷ 5（R5までの満点）× 4（新基準の満点）

※昨年度の5段階評価点は「令和5年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価」を参照。

I 機能の達成状況

（1）6つの機能

①拠点機能【3.5点】

- ・ UMECO企画展とアクティブサロンについて、概ね目標値を達成しており、年間を通じ、市民活動団体の活動内容や成果等を発表する場を提供できている。また、過去に参加のない団体に展示勧誘を広げようと努めた点も評価できる。小田原の魅力の発信につながる事業を展開できている。
- ・ UMECO企画展やアクティブサロン等について、今後も利用したことのない団体の参画を促進するとともに、アンケート調査の手法も見直しながら団体等の意見を捉え、UMECO独自の企画（地域や事業者との協働、市民活動促進に向けた啓発展示の実施など）やホワイエの有効活用方法についてご検討いただきたい。
- ・ 一団体の展示だけではなく、関連するキーワードをテーマに複数の団体の活動紹介をする形式があっても良いのではないかと。協働促進に向けた企画にもつながる可能性があるため、実現に向け検討していただきたい。

②相談・支援機能【2.8点】

- ・ 軽微な相談業務にはしっかり対応され、相談者へ方向性をアドバイスされている。専門的な相談への対応に向け、外部研修への派遣や、内部研修を実施し、職員のスキルアップを図った。
- ・ 相談件数が減少した理由を検証し、解散や活動資金の獲得手段、メンバー募集などの団体運営に関する相談や、法人設立相談など、あらゆる専門的な相談に対応することを心掛け、普段から市民活動団体への積極的な声掛けなども含め、より効果的な相談機能の周知に努めていただきたい。
- ・ 現在は専門的な相談に対応できるスタッフが限られているため、「UMECOに行けば解決する」との認識につながるよう、スタッフ全体のスキルアップの取組を継続していただきたい。

③協働支援機能【2.4点】

- ・「Hello! UMECO」の改訂版を発行し、団体とのマッチングの機会を広めることができた。
- ・パートナーシップミーティング等、協働事業を継続して開催し、若者を含む多くの参加があった。
- ・地域及び企業とのネットワーク事業においては、協働相手が限定的である。UMECOが自治会や地域活動団体、企業など、より多くの諸団体との協働のつなぎ役になるよう、ニーズの把握と積極的なマッチングを展開していただきたい。

④学習・体験機能【2.9点】

- ・夏休みボランティア体験学習について、私立の高校や大学への出前講座の実施により、高校生の参加が非常に多くなったことについて、ニーズの高いターゲットにうまく情報が届いたことは、一定の評価ができる。WEB 申し込みの評価が高いことなど引き続き気軽に参加しやすくする工夫を検討していただきたい。
- ・若者をターゲットにした学習の機会は引き続き実施いただき、あわせて団体向けの各種講座では、団体が求めるニーズを把握し、専門性が高く、団体の活動に寄与する内容の講座の実施についても検討いただきたい。

⑤交流・コーディネート機能【2.8点】

- ・UMECO祭り、団体交流会、新春交流会などいずれもアンケートで満足度の高い事業を複数実施し、市民活動団体同士が交流する場を継続的に提供している点は評価できる。
- ・事業の実施方法については、例えば活動分野を超えた交流機会の創設や、参加していない団体のニーズも捉えた上での展開なども検討し、この事業を通じて団体間の協働に結びつくよう積極的なコーディネートも実施していただきたい。
- ・協働に結びつく可能性がある、他主体が集まるパートナーシップミーティングのような事業は、自主事業として継続していただきたい。

⑥情報の集約・発信機能【3.0点】

- ・UMECOホームページのレイアウト見直しにより、情報がまとまり見やすく改善がなされた。同時にスマートフォン対応となったことは一定の評価ができる。
- ・ホームページの他、UMECOだよりやFMおだわら等、様々な媒体での継続的な情報発信を行った。
- ・更新後のホームページについては、積極的に周知をしながら更に活用されるよう、既存の情報だけでなく、市民活動の意義における説明や、各種事業の報告、より伝わるための文章作成など、内容と見せ方の継続的なブラッシュアップについて検討いただきたい。

(2) その他

①男女共同参画【2.8点】

- ・行政と連携しての男女共同参画に係る企画展示を継続的に実施できている。
- ・近隣の大学や高校との連携の中で男女共同参画分野の講座を実施するなど、UMECOが主体となつての事業展開を検討いただきたい。

- ・より多くの方々に周知されるようホームページやSNSでPRするとともに、啓発動画の作成・配信ができることが望ましい。

②国際交流【2.8点】

- ・行政との連携でしばらく開催できていなかった「国際交流フェスタ」を復活させ、更に新しい取組で「みんなの広場」を開催したことは一定の評価ができる。
- ・インバウンドの拡大もある中、UMECO主催による定期的な事業も検討していただきたいが、外国籍市民の抱える課題を市民活動団体の支援だけで解決できるかという問題もあり、行政及び市民活動団体とよく連携をしながら事業を展開していただきたい。

II コンセプトの達成状況

①誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場【3.1点】

- ・UMECO祭りや企画展、夏休みボランティア体験、市民活動入門講座等の各種事業を継続的に実施し、相談に対して適切に団体につなぐなど、市民活動のきっかけを促す場を数多く提供できている。
- ・各種事業におけるアンケートにおいては、その内容を今以上に精査し、ホームページやスマートフォンでの回答を可能にするなど、回収率向上への検討もあわせて行っていたことで、より効率的な事業の成果検証と改善につなげて、各種事業がより市民活動のきっかけとなる場となるよう取り組んでいただきたい。
- ・市民活動に参加するきっかけ作りとして、漠然とした関心のある人が参加しやすいよう入門講座の定期的開催や、実際に活動を見てもらうことも重要であることから、シティモスマイルステージなど既存事業の様子をSNSで動画公開するなど、より広範囲に情報が拡散されるような情報発信の手法について検討いただきたい。

②シェアしながら それぞれの思いがつながる行動の場【2.8点】

- ・既存事業の継続に加え、国際交流においてあらたに行政との協働事業を展開したことと、オンラインでの団体更新手続きの推奨など団体の負担軽減の取組には一定の評価ができる。
- ・新規の団体と既存団体との交流が深まるようUMECOが企画支援を行うことで、市民活動がより活発になることを期待したい。特に、交流事業では一過性で終わることなく、その先の連携を提示するなど活動の幅を広げる後押しを期待したい。
- ・UMECO祭りの成果検証のためのアンケートは、開催の目的を考え、団体関係者と一般参加者のアンケートは別内容とし、少なくとも関係者からの回収率は100パーセントを目指すべきである。
- ・パートナーシップミーティングで実際につながった事例についてはホームページ上で公開するとより協働促進に効果的であると考ええる。

③地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場【2.6点】

- ・県西地域に拡大したパートナーシップミーティングや社会課題を的確に捉えた男女共同参画分野の活動の実施などは、一定の評価ができる。

- ・パートナーシップミーティングは令和7年度が最後の県補助事業となるため、県補助終了後も同様に企業との繋がりが作れるような事業の実施に努めていただきたい。また生まれたつながりを確実に発展させられるようなコーディネートにも努めていただきたい。
- ・補助金制度のリニューアルや協働ガイドラインの改訂などにより、協働の意識向上につながったと思われる。今後は地域、企業、若者等、多様な主体の連携を積極的にコーディネートし、そのための各主体のニーズの把握と適切なアドバイスができるスタッフの配置など、市民がいつでも必要な支援を受けられる体制構築に努めていただきたい。

Ⅲ まとめ

UMECO企画展とアクティブサロンで、様々な団体に活動内容や成果の発表の場を提供するとともに、「Hello!UMECO」の改訂、パートナーシップミーティングの継続実施、夏休みボランティア体験学習における高校生をターゲットとした周知実施など、市民が様々なかたちで市民活動に関わるきっかけを増やす事業が展開できていることを評価する。

国際交流イベントや男女共同参画など社会課題に関する事業についても、新たに行政との協働による取組を実施したことは評価できる一方、市民のニーズを把握したうえで、UMECOが主体となった機動的な事業実施も期待したい。いずれの事業においても、実施後のアンケートは回収率を高めるよう工夫して課題や市民の要望を把握したうえで、ニーズに合わせた次の事業展開ができるよう努めていただきたい。

市民のニーズを捉える機会が増えれば専門的な相談も多々出てくると思われることから、日ごろの相談業務にあたる職員のスキルアップの取組も非常に重要となる。各種研修等を継続的に実施し、専門的知識を持つスタッフを増やしていくことで、UMECOが、常に専門的な相談が受けられる場所と認識されるよう努めていただきたい。また、利用者ニーズの把握のためには、UMECOスタッフから積極的に利用者へ声掛けを行うなど、日ごろから利用者のニーズを拾い上げる取組を意識して実施していただきたい。

ホームページについては、必要な情報を以前より分かりやすく整理したこと、スマートフォン対応となったことは、利用者目線に立った改善であると評価できる。引き続き、利用者の声を聴きつつ必要な改善を図り、より利用しやすいホームページを目指していただきたい。また、SNSを含めた様々な情報媒体における効果的な周知や事業実施も検討していただきたい。

以上のとおり市民の声をしっかりと聴いたうえでの団体支援に加え、市民活動をより長期的に継続可能なものとするために市民活動団体と企業や学校、地域活動団体など様々な主体との協働を促進するような施策展開を期待する。